

2. 私たちの住む街の素晴らしさ

2-1. 六甲山地の豊かな自然の恵み

六甲山地は、豊かな自然に恵まれた緑の森で、四季を通して、私たちを楽しませてくれます。しかし、江戸時代の末期には白い岩はだばかりがみえ、荒れ果てた山だったといわれています。現在の緑あふれる六甲山地は、明治以降、人々の手によって木々が1本1本植えられ、100年以上の歳月によって再生されたものです。今、私たちの目に映る山なみは、かけがえのない財産です。

木々の種類や生き物も非常に豊富であり、古くから六甲山地は登山や散策の場として市民に利用されてきました。こうした山を散策すると、四季折々の植物などが楽しめます。



甲山(桜)



甲山と甲山森林公園(新緑)



甲山と北山貯水池(紅葉)



甲山とニテコ池(雪)

2-1-1. 六甲山地の緑



縄文時代の六甲山地の植物は、シイ、カシなどの照葉樹林（つやつやした厚い葉を持つ樹木）でした。

六甲山地は緑豊かな山でしたが、社寺林以外は、薪を得たり草を刈ったりして、自分たちの力ではもともにもどれないほど、樹木が切り出されました。明治初期には地表が見えてしまうほどになりました。もともと崩れやすい性質を持つ六甲山地は、風雨にさらされ荒れ果ててしまったのです。

その後、明治35年（1902年）から始まった緑をとりもどすための工事によって、六甲山地は植物の宝庫となりました。

夙川流域周辺では、普通に見られる植物として、キシウスズメノヒエ、オランダガラシ、ミゾソバ、ジュズダマ、セリなどが確認されています。

また、甲山周辺の湿地植物群落、越木岩神社のヒメユズリハ群落などの貴重な植物が見られます。

これらの植物は、たいへん貴重なので採取はしないでください。



六甲山地の緑の歴史



六甲山地は昔、草木のない山だったって知ってた？

緑豊かな六甲山地は、人口が増えるにしたがって、多くの薪や草が切り出され、草木のない山になりました。その後、明治35年（1902年）から緑をとりもどすための活動が始まり、ヤシャブシ類、ニセアカシア、マツ類、スギ、ヒノキ、クヌギ、カシ類などを中心とした植樹を進め、現在のように緑を回復させています。



まんよう しょくぶつえん

万葉植物苑には、万葉集に詠われた72種類の植物が集められているんだよ！

西田公園内に「万葉植物苑」があり、万葉研究家の故犬養孝先生の指導のもと、万葉集に詠われた72種類の植物が植えられています。各植物の前には、現在名と万葉名、選ばれた万葉の歌や、その植物の花や実の見ごろの季節などが、陶器で作られた説明板で紹介されていて、目の前の万葉植物を見ながら万葉の世界を楽しむことができます。

公園内にある万葉文庫には、万葉集に関する書物やビデオが集められており、自由に見ることができます。

なお、万葉植物苑の「苑」の字は、「囲いをして、植物を植え、または、鳥獣を放し飼いにする所」という意味です。



万葉歌碑(犬養孝先生の書)



説明板



こしきいわ

越木岩神社は、自然の森に囲まれているんだよ！

越木岩神社の森は、ヒメユズリハなどの暖地性の自然林が残っている貴重な鎮守の森（土地を守る神を祀った神社の森）です。

シイやカシなどの高さ10mを超える大きな木が、たくさん神社を囲むように茂っています。中層にはヤブツバキやヤマモモなど、下草にはベニシダやコシダ、ササクサなどがあり、みごとな森を見ることができます。

境内にあるヒメユズリハ群落は県の「天然記念物」に、越木岩神社の森は市の「景観樹林保護地区」に指定されています。



越木岩神社の森(提供:越木岩神社)



ヒメユズリハの樹林



ヒメユズリハの実



私たちの街に残る貴重な植物を調べてみよう！！



甲山^{しやめん}湿原^{しつげん}には、氷河期の植物が残っているんだよ！

甲山の北東斜面^{しやめん}のふもとに、甲山湿原^{しつげん}が広がっています。この辺りの地層は、現在の大阪湾の海の底にあった大阪層群^{おさかそうぐん}が約100万年前以降の六甲変動^{へんどう}の時に盛り上がったもので、雨が流れ込んでも水はけが悪いため湿原になりました。

この湿原には、氷河期の生き残りと考えられるノハナショウブ、ウメバチソウ、ヌマガヤ、ミカヅキグサといった寒地性の植物が残っています。それに加えて、熱帯地方でないと育たないはずのケシンジュガヤ、イガクサといった植物が混生（混ざってはえていること）しているととても珍しい湿原です。

また、モウセンゴケ、ミミカキグサなどの食虫植物もいたるところに群生（まとまってはえていること）しています。



甲山湿原

<寒地性植物>



ノハナショウブ



ウメバチソウ



ヌマガヤ



ミカヅキグサ

<熱帯性植物>



ケシンジュガヤ

<食虫植物>



モウセンゴケ



ミミカキグサ





















西宮神社のえびすの森や越木岩神社の森には、どんな植物があるのか調べてみよう！！ ただし、入るときには神社の人に許可をもらってね！




私たちの街の中では、どんな植物が見られるのかな？

夙川では、様々な植物を見ることができます。

	夙川で見られる植物	河口付近で見られる植物
春	<p>写真の他、セリ、ギシギシなど</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>オオイヌノフグリ</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>オオカワジシャ</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="text-align: center;">  <p>オランダガラシ(クレソン)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>ハコベ</p> </div> </div>	<p>写真の他、ツルナ、マンテマなど</p> <div style="text-align: center;">  <p>ハマヒルガオ</p> </div> <div style="text-align: center; margin-top: 10px;">  <p>ツタバウンラン</p> </div>
夏	<p>写真の他、ツルヨシ、イノコズチ、エノコログサなど</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>ジュズダマ</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>イヌビエ</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="text-align: center;">  <p>ツククサ</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>ワルナスビ</p> </div> </div>	<p>写真の他、ハマナタマメなど</p> <div style="text-align: center;">  <p>ハマゴウ</p> </div> <div style="text-align: center; margin-top: 10px;">  <p>オカタイトゴメ</p> </div>
秋	<p>写真の他、ミゾソバ、オオオナモミ、ヨモギ、カゼクサなど</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>チカラシバ</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>セイタカアワダチソウ</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="text-align: center;">  <p>ノブドウ</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>ママコノシリヌグイ</p> </div> </div>	<p>写真の他、ハマユウ、クズなど</p> <div style="text-align: center;">  <p>アメリカネナシカズラ</p> </div> <div style="text-align: center; margin-top: 10px;">  <p>コマツヨイグサ</p> </div>

山地・^{しち}湿地・池では、市街地では見られない植物が見られます。

	山地で見られる植物	湿地や池で見られる植物
春	写真の他、シハイスミレ、クロモジなど  ヘビイチゴ  カンサイタンポポ  コバノミツバツツジ  コブシ	写真の他、イシモチソウ、モウセンゴケなど  オオミズゴケ  ガマ  ショウジョウバカマ  キシウブ
	写真の他、コアジサイ、ノリウツギなど  ササユリ  センニンソウ  ナツハゼ  ホタルブクロ	写真の他、ノハナショウブ、ノギランなど  ミミカキグサ  コバノトンボソウ  カキラン  サワシロギク
秋	写真の他、ヤクシソウ、ヤシヤブシなど  ススキ  クサギ  ウメモドキ  ヌスビトハギ	写真の他、スイラン、ヌマガヤなど  ウメバチソウ  タデ  ワレモコウ  リンドウ



いろいろな場所で見られる、様々な植物を観察してみよう！！

























2-1-2. 六甲から夙川、甲山周辺の生き物たち



私たちの街には、どんな生き物がいるのかな？

夙川では、いろいろな生き物が見られますが、河口付近では海水が入ってくることから、上流とは違った生き物を見つけることができます。

	夙川で見られる生き物	河口付近で見られる生き物
鳥	<p>写真の他、キセキレイ、カルガモなど</p>  <p>カワセミ</p>  <p>セグロセキレイ</p>  <p>ジョウビタキ</p>  <p>コガモ</p>	<p>写真の他、チュウシャクシギ、オナガガモなど</p>  <p>ユリカモメ</p>  <p>ハマシギ</p>  <p>ヒドリガモ</p>  <p>アオサギ</p>
昆虫	<p>写真の他、クマゼミ、コシアキトンボなど</p>  <p>ゲンジボタル</p>  <p>アブラゼミ</p>  <p>トノサマバッタ</p>  <p>コオニヤンマ</p>	<p>写真の他、コカマキリ、ギンヤンマなど</p>  <p>アオスジアゲハ</p>  <p>エンマコオロギ</p>  <p>オオカマキリ</p>  <p>ウスバキトンボ</p>
魚など	<p>写真の他、コイ、モクズガニなど</p>  <p>オイカワ</p>  <p>フナ</p>  <p>アメリカザリガニ</p>  <p>カワニナ</p>	<p>写真の他、アサリ、テッポウエビなど</p>  <p>マハゼ</p>  <p>ボラ</p>  <p>ケフサイソガニ</p>  <p>ハクセンシオマネキ</p>

	甲山周辺で見られる生き物	湿地や池で見られる生き物
鳥・けものなど	写真の他、テン、モズ、トラツグミ、イカルなど  イノシシ  タヌキ  キジ  ルリビタキ	写真の他、コサギ、マガモなど  ヌートリア  カイツブリ  バン  ヨシガモ
昆虫	写真の他、ヒグラシ、ハンミョウなど  キアゲハ  ニイニイゼミ  カブトムシ  アサギマダラ	写真の他、ミズカマキリ、アメンボなど  ハッチョウトンボ  ミヤマアカネ  ハイロゲンゴロウ  コオイムシ
魚など	写真の他、ヨシノボリ、ヒキガエルなど  カワムツ  ドンコ  モリアオガエル  サワガニ	写真の他、ブルーギル、カスミサンショウウオなど  ブラックバス  ウシガエル  イモリ  ヒメタニシ

私たちの街には、まだまだ多くの自然が残っており、様々な植物や生き物が見られます。しかし近年は、国外から来た帰化植物が多くなったり、池などでは外来種の魚が放流され、昔から住んでいた生き物の数が減るなど、生態系が変わってきています。



私たちの街や山の自然を守っていくためには、どうしたらいいの？
 家族や友達と一緒に考えてみよう！！



こうようおおいけ

甲陽大池には、約20種類のトンボがいるんだよ！

甲陽大池の周りは公園になっていて、多くの生き物を見ることができます。

特に、5～11月にかけてはベニイトトンボやチョウトンボなどの貴重な約20種類のトンボを見ることができます。また、渡り鳥がたくさんやってきます。

自然豊かな甲陽大池ですが、天然の池ではありません。田に水を引くため、350年も昔の江戸時代に造られたため池です。



甲陽大池



ベニイトトンボ



チョウトンボ



夙川でもホタルが見られるんだよ！

夙川では、阪急甲陽線と交わる辺りから上流にかけて、ホタルを見ることができます。この辺り一帯は、映画にもなった「火垂るの墓」の舞台となったところです。

一時は、川の汚れがひどくホタルは姿を消していましたが、下水道の整備が進み再び川がきれいになったことでホタルがもどってきています。この辺りは草むらが生い茂り、川にはゲンジボタルの大好きなカワニナが棲んでいて、ホタルが生息する環境が整っているのです。

最近では、多くの人々がホタル見物を楽しんでいます。



ホタルが見られる夙川



ゲンジボタル



私たちの街には、^{めずら}たいへん^{こんちゅう}珍しい昆虫が生息しているんだよ！

私たちの街では、日本でもあまり見られないヒメタイコウチやキベリハムシなどの珍しい昆虫が見られます。

ヒメタイコウチは、昭和8年（1933年）、西宮市上甲東園での発見が、日本で最初の記録とされている水生昆虫です。その後、西宮市内では甲山湿原など10ヶ所余りで確認されています。

キベリハムシは、日本に生息するハムシの中で一番大きく、美しいものといわれています。日本では、六甲山地が主な生息地として知られています。



ヒメタイコウチ



キベリハムシ



「地球温暖化を教えてくれる小動物」って知ってる？

地球温暖化が進むと、異常気象が起きる回数が増えたり、自然環境に様々な影響をあたえるといわれています。動物は、自分たちにあった条件の場所で生きていこうとするので、環境の変化に対して敏感に反応し、分布範囲を変えています。

私たちの街でも地球温暖化の影響で、以前はあまり見られなかった熱帯系のナガサキアゲハ、台湾ウチワヤンマ、ツマグロヒョウモン、セアカゴケグモ、クマゼミなどを、よく見かけるようになりました。



ナガサキアゲハ



ツマグロヒョウモン



セアカゴケグモ



台湾ウチワヤンマ



クマゼミ

2-1-3. 六甲の水の恵み



私たちの生活に、水は欠かすことができません。私たちの街は、古くから六甲山地を起源とする川の水や地下水の恵みを受けています。

特に、農業用水は「命より大切な水」として、私たちの街でも水をめぐってしばしば争いが起こりました。また、たいへんな努力をしてたくさんの水路やため池を造り、新田開発を進めました。



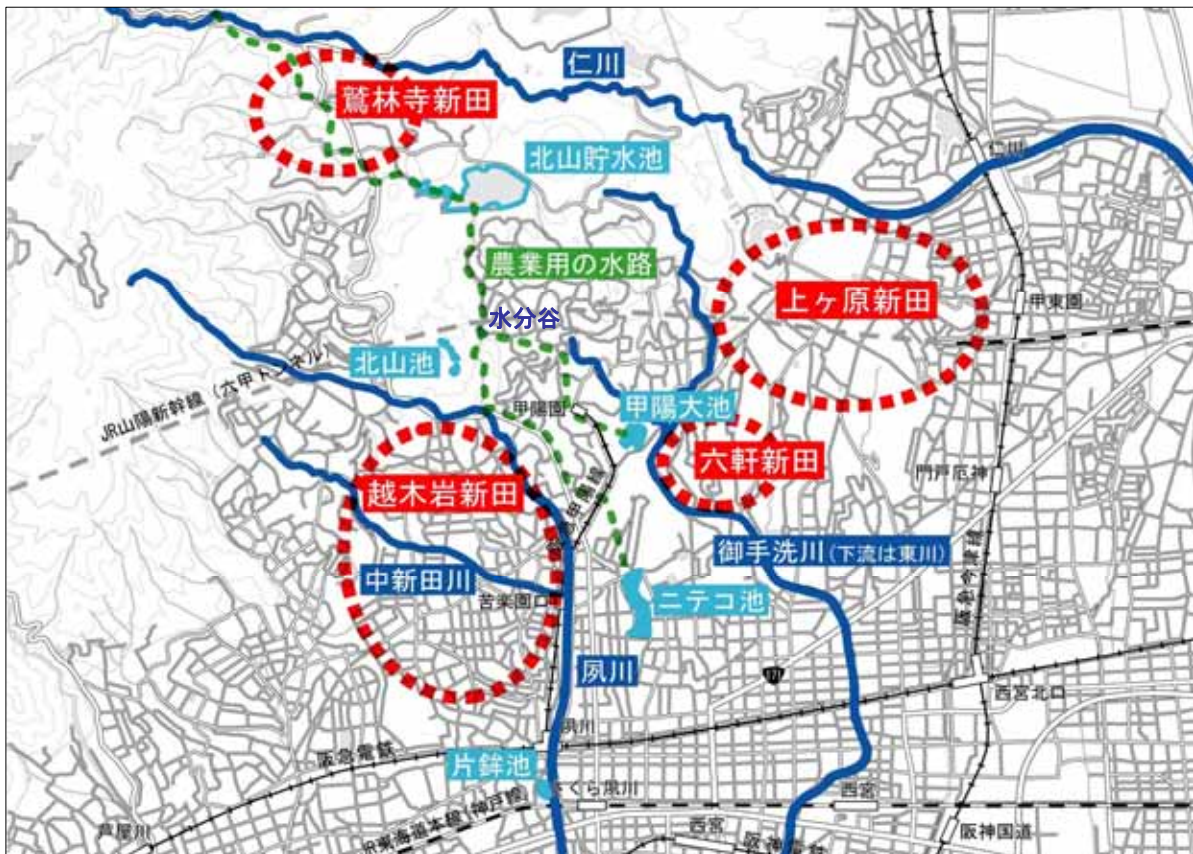
水を確保することで、新田開発ができたんだよ！

戦国時代の終わりから江戸時代にかけて、農地を増やそうと、それまで手がつけられていなかった台地などを開発していきました。それを新田開発といいます。

農地にするには、水の確保が必要です。そのためには、開発地より高い位置で川から取水しなければならぬため、たくさんの農業用の水路を造りました。

このように開発された新田に、「鷲林寺新田」「上ヶ原新田」「越木岩新田」「六軒新田」があります。越木岩新田では、中新田川の北を「上新田」、南を「下新田」と呼びました。

現在でも、街なかで雨でもないのに豊かな水が流れている水路を見ることができますが、多くは農業用に造られた水路です。



新田開発の位置図



夙川周辺でも、仁川の水を利用しているんだよ！

夙川は流域がせまく、ふだんはそれほど水量が豊かではありません。昔、^{かつすいき} 湯水期にはしばしば干上がってしまい、周辺の人々は水不足に^{なや} 悩まされました。

その^{たいさく} 対策として、流域が大きく水量の豊かな仁川から^{しゅすい} 取水するために、現在の甲山高校の裏の岩山にトンネルを掘り、甲陽大池やニテコ池などのため池や水路の大規模な工事を^{せきひ} 行い、農業に利用しました。



「兜麓底績碑」という、水路工事の成功をたたえた石碑があるんだよ！

広田神社^{けいたい}の境内から裏山に向かう遊歩道脇に「兜麓底績碑」という石碑が建っています。これは、江戸時代に水路工事を成功に導いた中村紋左衛門^{こうせき}の功績をたたえたものです。

当時、水不足に^{なや} 悩まされていた^{しゃけごう} 社家郷村（旧大社村、西宮町）は、仁川の水に目を付けました。この地域が所有していた社家郷山に降った雨は仁川に流れ込み、自分たちの田畑には使えなかったのです。

「われらの山から集まる水は、本来われらのもの」と考えた人々は、岩山を越える水路を造って、仁川から取水することにしました。しかし、もともと仁川から取水している仁川下流の人々から、水路工事に何回も^{ぼうがい} 妨害を受けました。そのとき、^{てんぐ} 天狗になりすました紋左衛門の機転により、^{はげ} 激しい戦いを避けることができたのです。

この話は、「六甲山のてんぐ」という民話で伝えられています。



水路工事の位置



兜麓底績碑



民話「六甲山のてんぐ」や「山の井」に、水不足とたたかった人たちの話があるよ！ 読んでみよう！！



水が必要なときに使えるために、ため池が造られたんだよ！

私たちの街にある池のほとんどは、昔の人が農業用に造った「ため池」です。

ため池は、雨の少ない時期や水利用が集中する時期に備えて、必要なときに使えるように水をためておくものです。現在では、農地が少なくなりその役目は少なくなりましたが、自然豊かな水辺として市民の憩いの場となっています。



甲陽大池

こうよう おおいけ

甲陽大池は、上ヶ原台地に水を引くために江戸時代に造られました。今は、一部が埋め立てられ甲陽園小学校が建っています。



ニテコ池

そしょう

ニテコ池は、南北に並ぶ3つの池の総称です。昔、西宮神社の大練塀を造るときに、土を掘り出した跡が池になったものといわれています。



北山池

北山池は、北山公園の中にあるとても景色の美しい池です。三つ子の姉妹のように、南北に並んでいます。



片銚池

かたほこいけ

片銚池は、夙川公園内にあります。桜の花びらが舞い、キショウブやハスの花が咲き、ガマが穂をつける美しい池です。



北山貯水池の水も仁川から引いているんだよ！

北山貯水池は、人口が増えていった西宮南部で、水が多く必要になることに備えるため、昭和43年（1968年）に完成しました。

仁川の湯ノ口取水口から、山を越えて約1.5kmの管の中を通して引いている水は、北山貯水池にためられ、私たちの飲料水として利用されています。

北山貯水池は、野鳥が多く、姿の美しい甲山を湖面にうつし、池のまわりの道路は甲山森林公園や北山公園、神呪寺、鷲林寺を通り、散策やハイキングに最適な場所です。



北山貯水池

2-1-4. 市民に親しまれている自然散策コース



マップ⇒ 3

夙川の周辺には、古くから市民に親しまれてきた甲山森林公園や北山公園に自然散策コースがあり、幅広い世代が自然や緑を楽しめます。

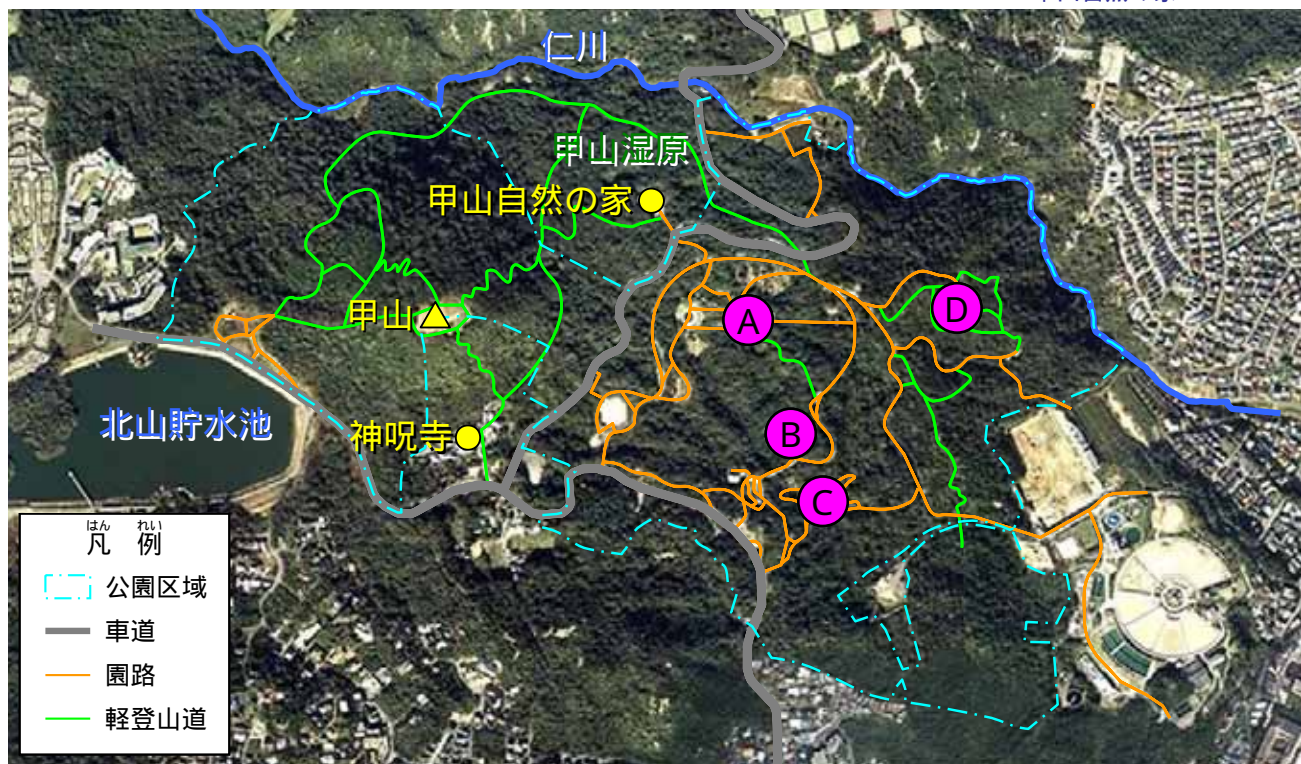


甲山森林公園には、たくさんの散策路があるよ！

甲山森林公園は83haの大変広い森林公園です。公園内にはたくさんの散策路のルートがあり、かさかたふんすい笠形噴水などの見どころもたっぷりあります。また、隣接して環境学習の拠点機能を備えた西宮市甲山自然環境センター（甲山自然の家・自然学習館・キャンプ場）があります。



甲山自然の家



甲山森林公園の自然散策コース図

自然散策コースの主な見どころ



A 笠形噴水



B 時計広場



C みくるま池



D 展望台



北山公園から西宮市内をながめられるよ！

北山公園は、西宮の街の北西部にあるなだらかな丘の上にあります。公園内には、北山緑化植物園があり、ロックヒルからは西宮の街をながめることができます。

自然散策コースの主な見どころ

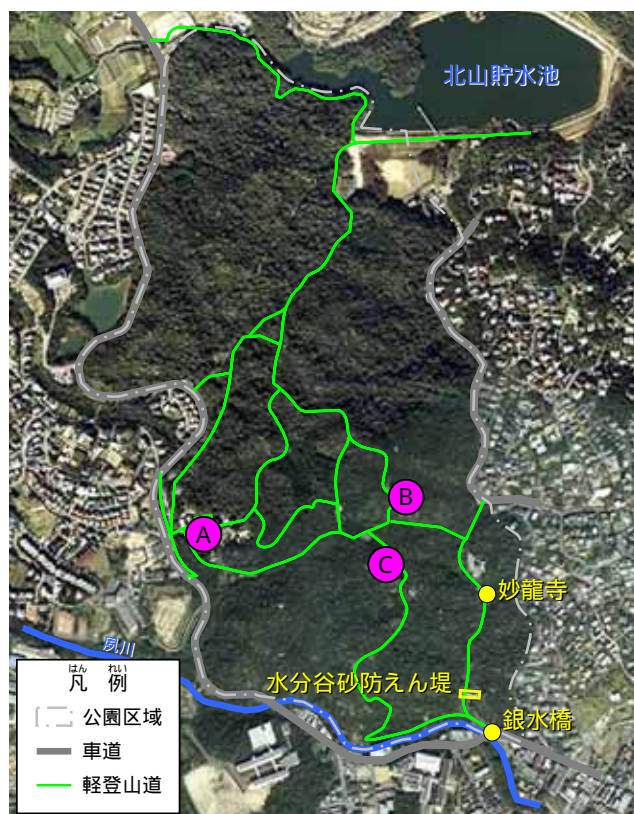
A 北山緑化植物園



B ロックヒル



C 北山池



北山公園の自然散策コース図



北山緑化植物園案内図



自然散策する時には、注意しなくちゃいけないことがあるんだよ！

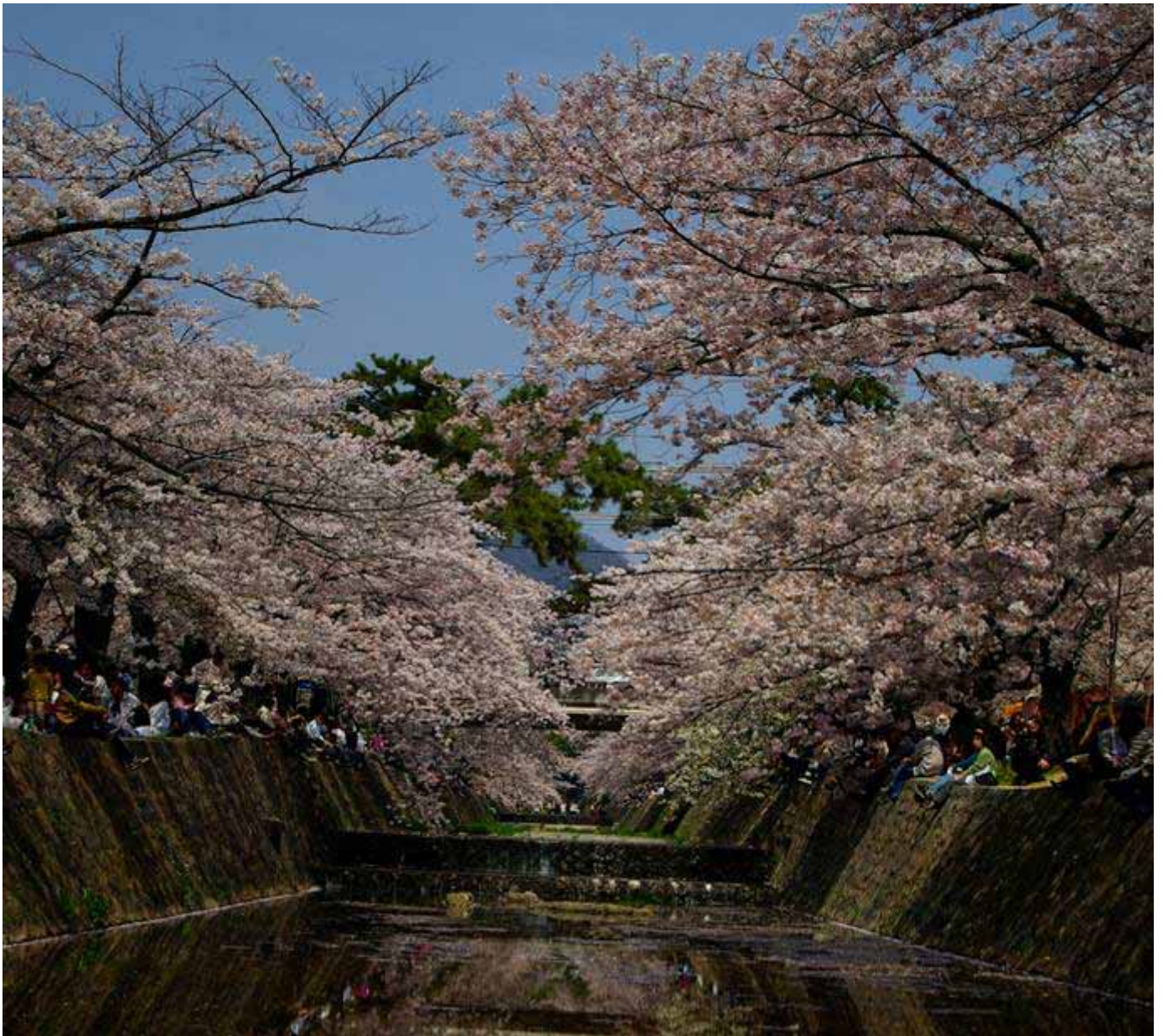
火を使わない！ 動物にえさをやらない！ ゴミは持ち帰る！
 とっていいのは写真だけ、採取しないで観察しましょう！
 マムシ、ヤマカガシ、スズメバチなどに会ったら要注意！



甲山森林公園と北山公園の自然散策コースを歩いてみよう！！

2-2. 私たちの街の暮らしの歴史

夙川の流れる私たちの街「西宮」は、阪神間の中間に位置し、住宅都市として発展してきた街です。西宮は古くは夙川や武庫川の扇状地として形づくられ、西宮神社の門前町として、また西国街道と中国街道の交流地であることから宿場町としても栄え、さらには江戸時代に宮水が発見されてからは、「灘の酒」の生産地としても有名になりました。また歴史と伝統のある街としての性格も持っています。街のあらゆる場所にすばらしい自然があり、歴史のあかしをたくさん見ることができます。



夙川の様子(苦楽園口橋付近)

2-2-1. 情緒あふれる酒造の街



「灘」地域とは神戸市東部から西宮市今津までの大阪湾に面する地域を指します。

「灘五郷」は日本一の酒どころで、西宮にはそのうちの西宮郷と今津郷があります。

西宮の酒造りといえば「宮水」がよく知られています。お酒は冬に造られ、夏になると味が落ちるといわれていますが、西宮のお酒は「秋晴れ」「秋栄え」といわれ、夏を過ぎるとぐっとおいしさが増します。その秘密は、良質の原料となる米、丹波杜氏（お酒を造る職人さん）のすぐれた技、そして「宮水」にあるといわれ、全国的に名高い酒どころです。（宮水について詳しくは28P参照）



宮水の周りでは、お酒造りがたくさん行われているんだよ！

宮水が湧き出るのは西宮神社の南東のごく狭い範囲に限られており、この場所を「宮水地帯」と呼んでいます。

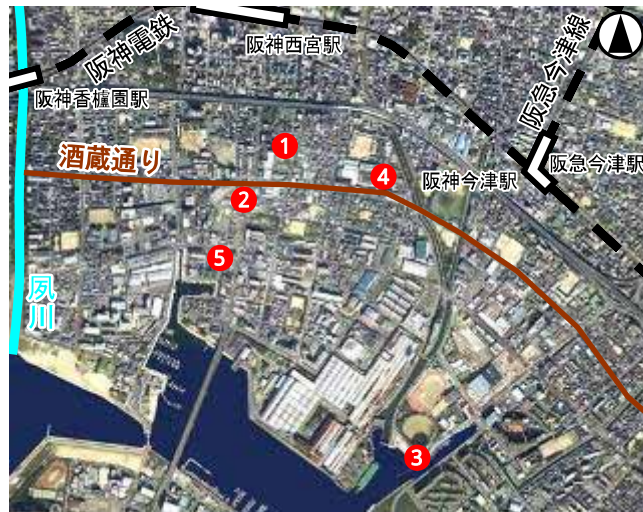
宮水は魚崎郷の山邑太左衛門によってその効能が確認されたといわれ、山邑氏の使っていた梅の木蔵井戸跡に「宮水発祥之地」の碑が建てられています。



① 宮水発祥之地の碑



① 宮水の「梅の木蔵井戸」



さかぐら
酒蔵通り周辺の酒造地



② はくたかろくすいせん
白鷹禄水苑



③ 今津灯台



④ 酒蔵通り煉瓦館



⑤ はくしか
白鹿記念酒造博物館(酒ミュージアム)



酒造館



私たちの街にはお酒に関わる建物がいっぱいあるよ！
地図を持って見に行ってみよう！



西宮南西部には酒蔵さかぐら通りがあるんだよ！

西宮南西部の宮水地帯付近には、西宮の地酒「灘なだの生一本」を造る13の会社があり、それぞれが井戸を持って酒造りを行っています。東西方向に走る酒蔵通りはくしかのまわりには、たくさんの酒蔵が建ち並んでいます。「白鹿記念酒造博物館」や「白鷹はくたか緑水苑ろくすいえん」、「酒蔵通りれんが煉瓦館れんが」などでは、様々な形で日本酒に触れることができます。

	白鹿記念酒造博物館	白鷹緑水苑
写真		
概要	<ul style="list-style-type: none"> ・清酒「白鹿」の辰馬本家酒造の私設博物館(酒ミュージアム)で、記念館と酒造館があります。 ・記念館は酒にちなんだ書画・工芸品・文献・資料の展覧会を開催。 ・酒造館では酒造りの工程などを展示。 	<ul style="list-style-type: none"> ・白鷹の蔵元、辰馬家の住居を、「蔵」とともにあった蔵元の、酒造りで営まれる「暮らし」の原点を見つめようとイメージ再現されたもの。 ・江戸末期から昭和初期にいたる蔵元の生活道具などを展示。
備考	開館時間：10:00～17:00(入館は16:30まで) 休館日：火曜日 料金：大人 400円、小中学生 200円 (特別展は別料金)	開館時間：11:00～18:30 休館日：第1、第3水曜 料金：無料

注意) 閉館時間など変わっている場合がありますので、直接確かめてください(平成25年(2013年)3月時点)



今津灯台は今でも現役で活躍かつやくしているんだよ！

江戸時代になって灘五郷で酒造業が発展し、酒の積出港として今津港が整備されました。今津の灯台は、港に出入する樽廻船たるかいせんや漁船の安全を願い、文化7年(1810年)に、大関酒造によって建てられたものです。昔の灯りの燃料は油でしたが現在は電灯になりました。この灯台は小さいながらも現在でも使われており「大関酒造今津灯台」の名で昔と変わらず海の安全を見守っています。



現役最古の木造灯台:今津灯台



私たちの街にはお酒造りの資料館がいっぱいあるよ！
見に行ってみよう！

2-2-2. 多くの顔を持つ個性豊かな西宮



西宮市は西宮神社の^{もんぜん}門前町として、また西国街道の^{さいごく}宿場町としても発展してきました。近年では大阪・神戸など大都市近郊の風景のたいへん美しい住宅都市として知られていますが、その他にも様々な^{とくちょう}特徴を持つ個性にあふれた都市です。



西宮の街の特徴は3つの宣言によくあらわれているよ！

西宮は住みやすい街として知られていますが、様々な特徴を持つ個性にあふれた街です。西宮市は、昭和38年（1963年）に「文教住宅都市宣言」を行い、その後も昭和58年（1983年）には「平和^{ひかく}非核都市宣言」、平成15年（2003年）には「環境^{かんきょう}学習都市宣言」を行いました。西宮市の目指す街は、これらの宣言内容にはっきりと表れているといえるでしょう。

文教住宅都市宣言

西宮市は住宅地のとても多い街で、学習や研究をしやすい環境づくりや様々な教育活動を図るために「文教住宅都市宣言」を行いました。

平和非核都市宣言

西宮市は、兵庫県でいち早く、「平和非核^{かくへい}都市宣言」を行い、核兵器^{かくへい}を持たずに、いつまでも平和を守り続けるとの宣言を行いました。

毎年8月には原爆展や親子広島バスツアー、平和のつどい、平和灯ろう流しなど平和な社会の実現に向けた活動が行われています。

環境学習都市宣言

西宮市では市内の小学生を対象とした環境学習を進めており、その取り組みは環境省のこどもエコクラブのモデルになりました。

また、これらの取り組みをさらに発展させ、環境学習をキーワードとしたまちづくりを進めるため、全国初の環境学習都市宣言を行いました。



文教地区を示すサイン
(上ヶ原文教地区)



日本で初めて^{かんきょう}環境学習都市を宣言したって知ってた？

世界中の国が、環境問題に取り組んでいますが、その実現のための一つの方法として子どもたちから環境教育を受けることが重要とされています。

西宮市は、わが国でも早くから環境の教育に取り組んでおり、わが国で初めて平成15年（2003年）12月に「環境学習都市宣言」を行いました。環境教育への取り組みや活動は高く評価されています。そのなかでも特に注目されるのが、これまでのように「知っている者から知らない者」へ伝えるというのではなく、環境教育を「共に学びあう」としている点です。

市内の各種団体では、家庭・地域・学校を結ぶエコカードを使った活動、体験的環境学習・エコツアー、各地域での^{せいそう}清掃活動などの様々な取り組みが進められています。また、こうした活動をエココミュニティ情報掲示板で情報発信しています。また、西宮市では、リサイクルプラザ（西部総合処理センター内）で「不用品交換^{こうかん}情報」を流すなどのエコ活動の支援を行っています。



ホームページによる情報掲示板



体験的環境学習(甲山湿原落葉かき)



「リサイクルプラザ」で再利用の大切さを体験してみよう！！

2-2-3. 芸術・文化の街



西宮は大阪と神戸の中間にあり、阪神間モダニズム文化圏^{けん}のほぼ中央に位置するため、古くから多くの作家が住み、文学作品の舞台^{ぶたい}やモデルとなっています。阪神・淡路大震災では数多くの文化遺産^{いさん}が被災し、消失してしまいましたが、それでもこれら小説の舞台となった場所や文化人の住居などを今でもたくさん見つけることができます。



夙川にまつわる文化人にはどういう人がいるのかな？

たにざき じゅんいちろう
谷崎潤一郎 (1886～1965)

ぶんごう
文豪の谷崎潤一郎は、一時阪急夙川駅近くの相生町に住んだことがあります。そこで大恋愛をし、忘れえぬ夙川を名作「細雪」^{ささめゆき}の中に登場させました。

細雪には、「マンボウ」(JR東海道本線(神戸線)にある人がやっと立って通れるか、場所によってはかがんでやっと通れるだけの高さのある、人専用のトンネルのこと)や、マンボウを北側に越えたところにある「一本松」、また「夙川バス停留所」も登場します。



マンボウ(平松町)



一本松(常磐町)



夙川バス停留所

いのうえ やすし
井上 靖 (1907～1991)

夙川橋から香櫨園^{こうじゅ}駅に至る夙川沿いの道を「夙川オアシスロード」と呼んでいますが、作家の井上靖はこの道をこよなく愛し、友人への手紙には次のように書いています。『私は昭和11年ごろから2、3年香櫨園海岸に借家住まいをしておりました。新聞社に入ってすぐのころでありました。私にはたいへん懐かしいところで、そんなわけで阪神間に舞台を設定するとなると、あそこをえらんでしまいます。……』

また、小説「あした来る人」に夙川が登場します。



夙川オアシスロード

ゆかわひでき
湯川秀樹 (1907～1981)

ノーベル物理学賞を受賞した湯川秀樹博士も、この地に深い思い入れをもつひとりです。博士は随筆「旅人」の中でこのように書いています。

『昭和8年の夏から、私ども一家は苦楽園の新しい家に住むことになった。この家が、私にとって忘れることができない思い出の家となったのである。』



中間子論誕生記念碑(苦楽園小学校内)

すだ こくた
須田克太 (1906～1990)

埼玉県生まれの洋画家である須田克太は、力強く自由で奔放なタッチが特徴とされています。小説の中で西宮をたくさん描いている司馬遼太郎とも友情をあたため、この地に住んで司馬遼太郎氏の『街道をゆく』の挿絵を担当したことで広く知られています。西宮文化賞、兵庫県文化賞なども受賞しています。



「火垂るの墓」で兄妹が隠れ住んだ横穴はニテコ池のそばにあるんだって！

野坂昭如原作で、昭和63年(1988年)にはアニメ映画にもなった「火垂るの墓」は、太平洋戦争の戦争中、そして戦後の神戸と西宮が舞台です。

戦争末期の大空襲によってお母さんを亡くし、14歳の兄「清太」と4歳の幼い妹「節子」は、西宮に住む親せきの家に疎開(ひなんすること)するのですが、その後その家を出て、近くの池の横穴に兄と妹二人の生活を始めます。しかしお金がなく、食べものがなかったために妹は栄養失調がもとで死に、その1ヶ月後、兄も駅の構内で眠るように餓死するという悲しいお話です。

この疎開先のおばさん宅の近くで、兄妹が後に住むことになる横穴のある池がニテコ池です。近所で風呂に入れてもらったあと、清太と節子はニテコ池に立ち寄り、たくさんのホタルに見とれてしまいます。ポンプ室と思われる建物もアニメでは印象的です。



ニテコ池



「火垂るの墓」(物語の場面イメージ)



文化人や文学作品と関わりのある場所を巡ってみよう！！



西宮にはどんな美術館や博物館があるのかな？

西宮には西宮市大谷記念美術館、^{えがわ} 瀬川美術館などの美術館や西宮市立郷土資料館、西宮市立平和資料館、^{まぐち} 菊池貝類館、^{たつまこうこ} 辰馬考古資料館、黒川古文化研究所など多くの資料館や博物館があります。

また、西宮浜には世界各地の貝類を^{てんじ} 展示している西宮市貝類館があります。



西宮市貝類館の貝の展示

	西宮市立郷土資料館	西宮市立平和資料館
写真		
概要	<ul style="list-style-type: none"> 郷土の考古、歴史、民族などの資料を収集、保管、展示されている。 企画展示、特集展示、一品展示、講座などの催しのほか、市民文化財ボランティアによる市内の歴史調査、市民グループと共同開催する講座などを実施している。 	<ul style="list-style-type: none"> 西宮市民の方々から提供された戦争時の^き 貴重な資料が展示、解説されている。 西宮の戦争被害を次の世代に語り継ぎ、市民が戦争の^つ 悲惨さと平和の^{ひさん} 尊さを自ら学ぶことにより、平和な社会をつくることを目的としている。
備考	<p>両資料館とも西宮教育文化センター内に開設されている。</p> <p>開館時間：10:00～17:00（入館は16:30まで）</p> <p>休館日：月曜日、年末年始</p> <p>料金：無料</p>	

（平成25年（2013年）3月時点）



私たちの街のなかには、美術館、博物館、資料館などがたくさんあるよ！
見に行ってみよう！

2-2-4. 街の歴史を語る様々な「あかし」



私たちの街には、街の歴史を物語る「あかし」が、数多くあるんだよ！
夙川周辺を歩くと、タイムトラベルができるんだよ！

あなたの知っている場所に を付けましょう。

遺跡・寺社など	① 西宮神社	② 広田神社	③ こしきいわ 越木岩神社	④ もんどうやくじん どうこうじ 門戸厄神(東光寺)
チェック				
遺跡・寺社など	⑤ じゅうりんじ 鷲林寺	⑥ かのうじ 神呪寺	⑦ なつぎ 名次神社	⑧ かいせいじ 海清寺
チェック				
遺跡・寺社など	⑨ やそつかこぶん 八十塚古墳群	⑩ かんせい 関西学院構内古墳	⑪ こしみずじょうし 越水城址	⑫ まんちだに 満池谷層
チェック				

こうした街の「遺跡・寺社など」が残っているのには、当時の人々の「願い」や「いわれ」などが背景にあり、後の時代に伝えようとした思いがあります。



西宮には全国的に有名な神社やお寺があるのを知っているかな？

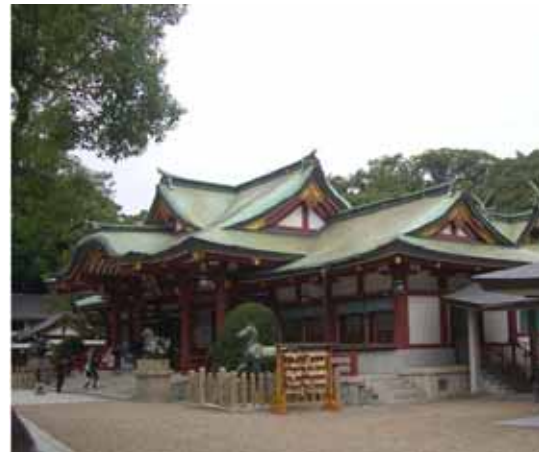
西宮には西宮神社（えべっさん）、広田神社など全国でも名の知られた由緒ある神社やその他にも多くのお寺などがあります。

－夙川周辺の由緒ある神社・お寺－

西宮神社（えべっさん）

釣り竿を片手に鯛を抱えてニコニコ顔のえびす様は「えべっさん」の名で親しまれ、福の神様・商売の神様とされています。

昔、鳴尾浦の漁師が網にかかったえべっさんを、お告げにしたがってこの地に祀ったのが西宮神社のおこりといわれています。江戸時代に傀儡師（人形を操りながらえびす信仰を全国に広めた芸能集団）が操り人形で全国に広めたこともあって、庶民に広く信仰されるようになりました。



「えべっさん」の名で親しまれる西宮神社

広田神社

日本書紀にも登場する兵庫県で最も古いとされる神社の一つで、神功皇后が天照大神のお告げにより荒魂（神の荒々しい側面、荒ぶる魂）を祀ったのが始まりとされています。

天照大神を祀る広田神社はスポーツ、学業・受験の神様としてご利益があり、毎年阪神タイガースが優勝祈願にお参りすることでも知られている神社です。



広田神社



西宮神社はどうして「えべっさん」っていわれるのかな？

「えべっさん」とは、「神様」のことを「神さん」と呼ぶ親しみを込めた表現で、全国的には「えびす様」または「恵比寿神」と呼ばれている七福神の一人です。

もともとは持ち物の釣り竿と鯛からもわかるように海の神様ですが、後に農業や商業の神様としても信仰されるようになりました。日本の国生みの神であるイザナギノミコトとイザナミノミコトの息子とされ、七福神の中では唯一日本で生まれた神様とされています。

マップ⇒3

越木岩神社

古い由緒ある神社ですが、いつごろできたか確かな記録は残っていません。本殿の後ろに高さ10m、周囲30mの大岩があり、形が「酒米を蒸す甑」に似ていて、岩の上から湯気が出ていたということから「甑岩」と名づけられたといわれます。『安産の神・子授けの神』として知られています。



越木岩神社

名次神社

衣食住の神様として、また特に雨乞いをお願いする神様として知られています。いつの時代に建てられたのかはよくわかっていませんが、名次山は古来から名勝地として知られ、万葉集で高市連黒人が「吾妹子に猪名野は見せつ 名次山角の松原 いつか示さむ」（私の妻に猪名野は見せたが、名次山や角の松原は、いつになったら見せられるでしょうか）と詠んでいます。ニテコ池のすぐ近くにあります。



名次神社

海清寺

海清寺は、応永元年（1394年）無因宗因により開かれたと伝えられ、臨済宗妙心寺派の有名なお寺で、多くのお坊さんを育ててきました。



海清寺



越木岩神社には「こしき岩のいかり」という昔話があるんだよ！

夙川は昔からきれいな川で、「甑岩」の辺りから流れ出ているといわれ、人々はこしき岩を神様の岩として大切にしてきました。

400年ほど前、「大坂城」の石垣工事が始まり、あちらこちらの山から大きな石を見つけては大阪へ運んできました。

お殿様がこのこしき岩に目を付け、大勢の石切り職人を連れてきて、この大岩を切り出す作業にかかりました。村人たちはたたりをおそれてやめるように頼みましたが聞き入れられません。職人たちががのみを打つたびに火花が散り、それがだんだん激しくなって、そのうちに岩の裂け目から白い煙が吹き出し始めました。その後、ものすごい勢いで音を立てて様々な色の煙を吹き出し、石切職人達は手足をふるわせ、苦しみもだえ、やがて息絶えてしまったのです。それを見た役人たちも命からがら逃げ出しました。

こんなことがあって、「甑岩」はいっそう人々から大切にされるようになりました。

歴史を物語るあかし	13 <small>まんよう</small> 万葉植物苑	14 甲山湿原	15 <small>さかぐら</small> 酒蔵通り	16 <small>はぐたか ろくすいえん</small> 白鷹緑水苑
				
チェック				
歴史を物語るあかし	17 <small>はくしか</small> 白鹿記念酒造博物館	18 今津灯台	19 旧西宮砲台	20 <small>ほっしょう</small> 宮水発祥之地の碑
				
チェック				
歴史を物語るあかし	21 今津六角堂	22 西田公園	23 カトリック夙川教会	24 夙川銀水橋
				
チェック				
歴史を物語るあかし	25 <small>たい かんろうあと</small> 大観楼跡	26 <small>くぐつ し こ せき</small> 傀儡師故跡	27 <small>おこしや</small> 御興屋伝説地	28 復元された水車
				
チェック				



実際に歩いて、歴史の「あかし」を確かめて、地図に 印を付けていこう！
知らない場所へは、家族といっしょに見に行ってみよう！！



西宮の南西部にはいろいろな歴史遺産があるよ！

旧西宮砲台

幕末の黒船（外国の船で黒い色だった）の到来は人々を社会不安におとし入れました。幕府は黒船に対抗するため、軍艦奉行勝海舟の意見を取り入れて、沿岸の主要な場所に砲台を築くことにし、西宮と今津に砲台が築かれました。完成に4年の歳月を要しましたが、明治維新まで一発の砲弾も撃たずにその役目を終えました。今津の方は砲台の一部の石材だけが残っています。



旧西宮砲台

今津六角堂

明治15年（1882年）に今津小学校の校舎として建てられた木造2階建の建物です。正面玄関の六角形のモダンなデザインが人々の目を驚かせたといわれます。

当時としては大変珍しい形なので、遠くの人々がお弁当を持って見物に来たそうです。



今津六角堂



傀儡師故跡

傀儡師故跡

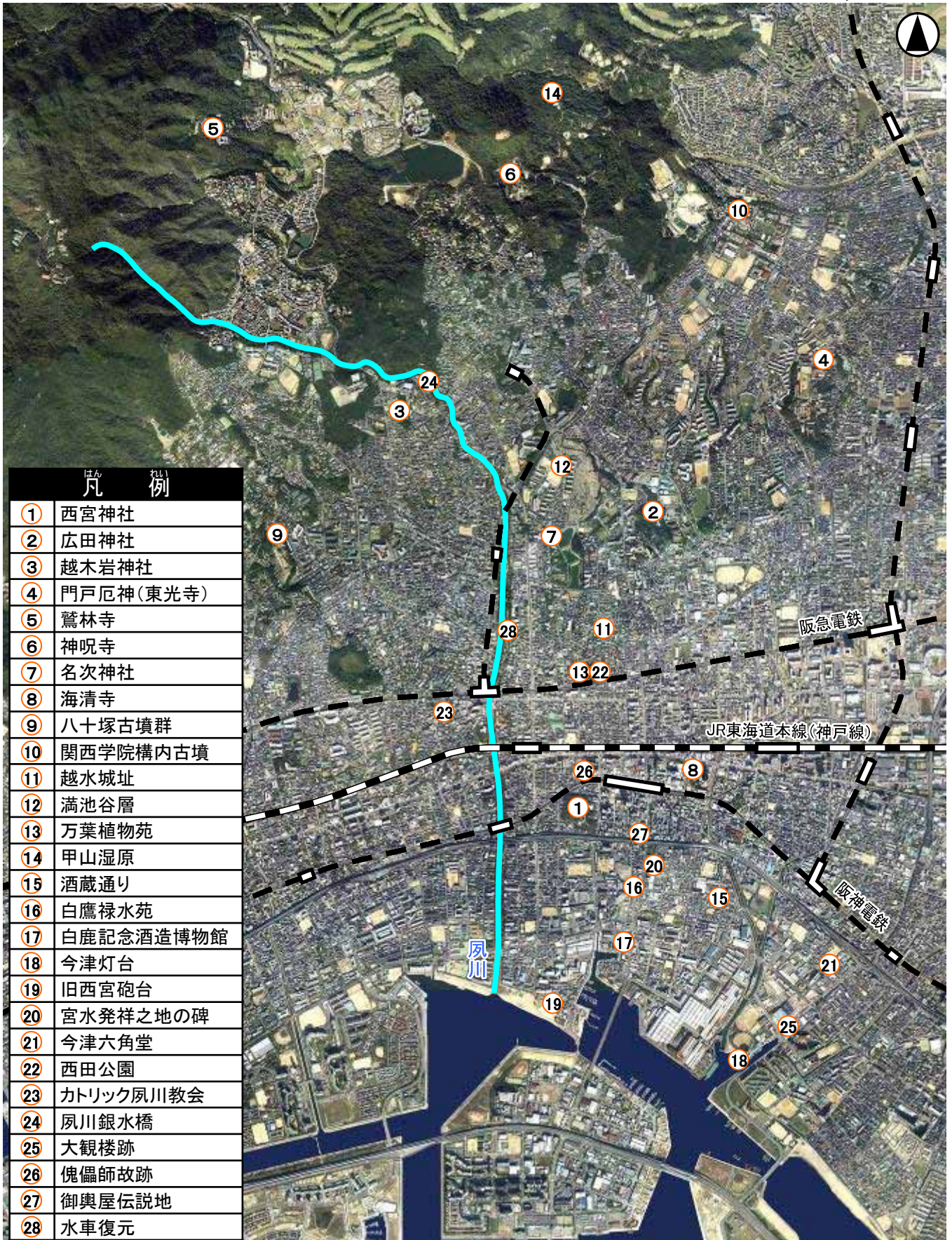
傀儡師とは操り人形を使って大道芸をする人々のことです。彼らは西宮神社のお札を持って諸国を巡り、人形を踊らせながらえべっさんのご利益などを広めました。この傀儡師の芸から人形浄瑠璃が生まれましたと伝えられています。



旧西宮砲台は一度も使われなかったんだって、どうしてだろう？

旧西宮砲台は、黒船の来襲に備えて大阪湾を守るという重要な役割を担うはずでした。完成後に試し撃ちしたところ、室内に煙が充満し、そばにいることができなかったそうです。そのため、一度も使われることがないまま明治維新を迎えました。

◆主な「あかし」位置図



2-3. 私たちの街の祭りや地域の活動

私たちの街は、古くは西宮神社の門前町^{もんぜん}として、また西国街道^{さいごく}と中国街道の交流地であることから宿場町として栄え、さらには江戸時代の宮水発見以来灘^{なだ}の酒の生産地として有名となるなど、歴史と伝統のある街として発展してきました。一方では、国際的で文化的な都市としても広く知られるなど、様々な顔をもっています。

また、この街を流れる夙川は、昔から人々の暮らしと深く関わっていました。川の周辺には桜や松なみ木に代表される美しく豊かな自然、また、神社仏閣^{ぶつかく}や歴史的な文化財が点在するほか、多くの物語や文学の舞台^{ぶたい}にもなっています。

私たちの街では、これらの自然や伝統文化を守り・伝え・育てていく様々な活動が行われています。



夙川の桜なみ木

2-3-1. 人々が集う西宮の祭り



マップ⇒4

西宮では、夙川のさくら祭り・西宮神社の十日えびす・だんじりなどたくさんのお祭りが開かれます。

西宮さくら祭り

「さくらの名所100選」にも選ばれている夙川公園は、南北2.8kmにわたり約1,600本の桜が植えられ、市民の憩いの場として親しまれています。桜の下でお茶会や抽選会、さくらウォークラリー、写生大会、写真撮影会などのイベントが開かれます。



桜なみ木の様子

かんおう
観桜茶会

写生大会



桜の下の小さなコンサート



みんなでさくら祭りに参加してみよう！！

西宮神社のまつり

西宮神社は、全国的に「えべっさん」の名で親しまれた「えびす神社」の総本社で、毎年正月の十日えびすには、9日、10日、11日の3日間で100万人もの人が商売繁盛を祈って参拝します。10日午前6時の大太鼓を合図に表大門が開かれると、待ち構えた参拝者が本殿へ走り、到着順に1番から3番までが「福男」に認定されます。

6月14日には関西で最も早い夏祭りといわれる、御輿屋伝説地までえびす様をびわで飾ったおみこしにのせてかついで行う「おこしや祭り（ゆかた祭・びわ祭）」が開かれます。御輿屋伝説地の石碑に書かれている「蛭子神」とは「えびす様」のことです。

9月には21日から23日まで「西宮まつり」とよばれる秋祭りが開かれます。3日間をおとして西宮神社や越木岩神社などのだんじりが集まり、街中を練り歩きます。

また、7月31日に西波止町の住吉神社（西宮神社の末社）で行われる夏祭りでも、子どもたちが引く船だんじりが練り出されます。



十日えびす・神社本殿



十日えびす・開門神事



十日えびす・福笹



おこしや祭り・おみこし



おこしや祭り・ゆかた姿の氏子



住吉神社の船だんじり



西宮まつりの船渡御は400年ぶりに復活されたんだって！

西宮神社の秋祭りは、西宮まつりといわれ、9月21日の宵宮祭、9月22日の例祭、9月23日の渡御祭の3日間行われます。

昭和29年（1954年）には陸渡御が再興され、平成12年（2000年）には震災復興記念として400年ぶりに船渡御が再興されました。海上ではかざまつり、陸上ではだんじり巡行、稚児行列、こども樽みこし、奉納演芸会などがにぎやかに行われます。

- 西宮まつり(秋祭り)の様子 -



神社出立の様子



みこし行列

ふなとぎよ
船渡御の出発ちご
稚児行列

かざまつりの神事

こしき いわ
越木岩神社のまつり

越木岩神社はえびす大神をお祀りしており、えびす大神の総本社の西宮神社に対し、「北のえびす」と称されます。越木岩神社では十日えびす、節分祭、越木岩泣きずもう、新能、秋の例大祭など、年中お祭りが催されます。

泣きずもうは子どもの成長を願う伝統行事で、土俵でよく泣いた子どもは元気に育つとされており、境内には赤ちゃんの力強い泣き声が響き渡ります。

秋祭りにはだんじり巡行が行われ、他の神社のだんじりも集合して勇壮な練り回しが披露され、多くの見物客でにぎわいます。



越木岩神社のだんじり



だんじりの練り回し



泣きずもう



だんじりまつりのことを、おじいさんやおばあさんに聞いてみよう！！

2-3-2. 夙川での活動



私たちの身近な存在である夙川は、年中に渡って市民に愛され、楽しまれ、^{した}親しまれるすばらしい川です。夏には、川の中に入って遊ぶ子どもたちの姿^{すがた}が見られるなど、子どもたちの自然観察の場、市民の憩^{いこ}いの場としても親しまれています。



自然観察



水遊び

さんさく
散策

「西宮自然保護協会」では、どんなことをしているの？

「西宮自然保護協会」は、西宮の自然を調査・研究し、自然に対する理解を深め、郷土の自然を保護することを目的とした団体です。

毎月1回の会員向けに行う自然観察会などを通じて、自然環境の大切さを知ったり、考える啓発活動に取り組んでいます。



夙川河口調査

また、子どもたちの自然体験活動や環境学習などへの支援活動や、「ふるさと西宮の自然」などの出版を通じて、地域の自然を紹介しています。



夙川自然観察会



親子生きもの・環境学習



自然保護協会の各種出版物



「ふるさと西宮の自然」で、私たちの街の植物や生き物を調べてみよう！

2-3-3. 様々なまちづくり活動



私たちの街には、どんなまちづくり活動があるのかな？

エココミュニティ会議

平成15年（2003年）に全国初の環境学習都市宣言を行った西宮市では、地域住民のひとりひとりが自主的に地域の環境に応じた課題を見つけ、計画や目標づくりを行い、子どもから大人までの各世代が協力して環境まちづくりを推進していきこうと、中学校区を基本単位にエココミュニティ会議の設置を進めています。

地球ウォッチングクラブ（EWC）事業

平成4年（1992年）に始まったEWC（Earth Watching Club）事業では、平成10年（1998年）より市内小学生全員を対象に自主的・体系的・総合的な環境学習のしくみとして「エコカード」を活用した取り組みを地域・家庭・学校が一緒に進めています。

子どもたちが、環境学習や活動に参加すれば「エコカード」に「エコスタンプ」を押してもらえ、一定のスタンプが集まれば「アースレンジャー認定証」がもらえるしくみです。

こども環境活動支援協会（LEAF）

環境学習を通じた持続可能な地域づくり・人づくりに向けた活動を、市民・事業者・行政が連携して進めていくためのしくみづくりや取り組みを、幼児から大人までの各世代や各主体を対象に進めています。エコカードシステムや川などでの環境学習プログラムの実施、事業者と連携した甲山・社家郷山周辺（総称：甲山グリーンエリア）での森林保全や食農教育（甲山農業塾）事業なども行っています。また、甲山自然環境センターなど環境学習拠点の管理・運営も行っています。



甲山自然環境センター
（甲山自然学習館）



クラスみんなでエコ活動に積極的に参加して、アースレンジャーになろう！

六甲山自然案内人の会

六甲山とそれに連なる山々の周辺で定期的に自然観察会を実施し、土・日・祝日には山の案内人として、ボランティアガイドを行っています。また、自然を守るために環境保全整備などの活動も行っています。

毎年、夙川から甲山を登るコースを使って、案内人養成研修を行っています。

<http://rokkosan.gotohp.jp/>



ボランティアガイドの様子



案内人養成研修の様子(夙川～甲山)

六甲山の自然を学ぼう会

六甲山やその周辺の地域の環境保全に関する事業を行い、自然を大切に作る心を育て、豊かな環境の保全を目的に活動しています。

<http://www.rokkosan-shizen.com/>



六甲山の自然を学ぼう会のHP

(平成25年(2013年)3月時点)



生き物や植物に興味をもって自然観察調査などに参加してみよう！！